

◆ 大学院における共通授業科目の開設・履修等に関する細則

平成23. 11. 15

教育運営委員会

(目的)

第1条 この細則は、東京大学大学院学則第9条の3第1項に定める共通授業科目について、同条第3項の規定に基づき、その開設、履修等に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(届出及び公表)

第2条 共通授業科目を開設する研究科等（以下「開設研究科等」という。）の長は、当該科目の開設に当たり、当該科目の名称、目的、単位数、履修資格、定員、内容、授業の方法、成績評価基準その他必要事項をあらかじめ別紙様式により、教育運営委員会に届け出なければならない。

2 届出後に当該科目の内容等に変更が生じる場合は、前項の規定を準用する。

3 届出の経路を経た当該科目は、「全学授業カタログ」に「大学院共通授業科目」として記載する等、学生に対し必要な情報を公表しなければならない。

(提案)

第3条 研究科等の長は、複数の教育研究部局の教員の協力を必要とする共通授業科目の構想（以下「部局横断型構想」という。）について、当該科目の開設を教育運営委員会に提案することができる。

2 教育運営委員会は、全学的な観点から特に意義があると認める部局横断型構想について、特定の研究科等の長に対し、前項に係る提案を行うよう求めることができる。

(作業委員会)

第4条 教育運営委員会は、部局横断型構想の提案があった場合、当該構想を適当と認めるときは、当該共通授業科目の企画及び実施に密接に関係する教育研究部局に所属する教職員で構成する作業委員会を設け、当該科目の内容等について検討させるものとする。

2 作業委員会は、前条第1項の提案を行った研究科等と緊密な連携を図り、開設研究科等を選定の上、授業計画案を策定し、教育運営委員会に提出するものとする。

3 教育運営委員会は、作業委員会から授業計画案の提出を受けた場合、特に支障の無い限り当該科目の開設予定の研究科等に対して、第2条第1項の規定に基づく届出及び具体的な実施の準備を求めるものとする。

(履修手続)

第5条 各研究科等においては、開設する共通授業科目の目的、履修資格、内容等を踏まえ、学生の当該科目の履修について適切に配慮するものとする。

2 学生の共通授業科目の履修については、当該学生の所属研究科等が定める手続によって行うものとする。

3 共通授業科目を履修して学生が取得した単位の取扱いについては、各研究科等の定めるところによる。

(学部学生の聴講)

第6条 開設研究科等の長は、共通授業科目の聴講を希望する学部学生があるときは、大学院の学生の修学に妨げがないときに限り、当該学生に対し聴講を許可することができる。

(成績評価等)

第7条 共通授業科目の成績評価は、開設研究科等が行う。

2 複数の共通授業科目からなるプログラムであって、教育運営委員会が適当と認めるものについては、当該プログラムを修了した者に対し教育運営委員会委員長名で修了証を交付することができる。

(部局横断型教育プログラムとの関係)

第8条 共通授業科目が部局横断型教育プログラムを構成する科目である場合、当該科目については、この細則によるほか、教育運営委員会が定める部局横断型教育プログラム開設内規等に従って開設及び実施しなければならない。

附 則

この細則は、平成23年11月15日から施行する。

附 則

この細則は、平成24年4月1日から施行する。

別紙様式

大学院共通授業科目開設届出書

実施部局名	
実施責任者（所属）	
授業科目名	
開講区分（ターム等）	
単 位 数	
時 限	
担当教員（所属）	
授業科目の目的及び内容 1) 目的 2) 内容（編成方針等） 3) 履修後に身に付く能力	
履 修 資 格	
定 員	
授業の方法	
成績評価基準	
実 施 体 制	

（注）「部局横断型構想」の場合は、実施体制欄に明記すること。